

健康ちば21（第2次）中間評価報告書

目指そう！元気ちば

食事は減塩（げんえん）
運動（うんどう）は+10（プラス・テン）
休養（きゅうよう）は睡眠でしっかりと
地域（ちいき）の人とつながって
延ばそう健康寿命！



千葉県マスコットキャラクター
「チーバくん」

平成30年3月

千葉県健康福祉部

はじめに

「健康で充実した人生を送りたい。」これは、全ての県民の願いです。

健康で生き生きと生活することは、一人ひとりの幸せと同時に、こころ豊かな社会の実現につながります。

千葉県では、平成25年3月に、「県民が健康でこころ豊かに暮らす社会の実現」を基本理念とした「健康ちば21（第2次）」（平成25年度～34年度）を策定し、「健康寿命の延伸」と「健康格差の実態解明と縮小」を総合目標に掲げ、各種健康づくり施策を展開してまいりました。

平成29年度は、本計画の中間年に当たることから、中間評価を実施して、これまでの各施策の目標の達成状況や具体的施策の取組状況及び成果を評価し、最終年に向けて県が推進すべき取組を明らかにしました。

今後は、中間評価の結果、見えてきた健康課題である、減塩（**げんえん**）・運動（**うんどう**）、休養（**きゅうよう**）、地域（**ちいき**）の人とのつながりについて重点的に取り組むことで、総合目標である健康寿命を延ばすことを目指します。県民の皆様と関係者が一丸となって目標の達成を目指すため、キャッチフレーズとして「目指そう！**元気（げんき）ちば**」を掲げ、県民の健康づくりがより効果的に推進されるよう取り組んでまいります。

おわりに、今回の中間評価の実施に当たり、御協力いただきました健康ちば地域・職域連携推進協議会の委員の皆様と関係者の皆様、そして県民の皆様にご心より感謝申し上げます。

平成30年3月

千葉県健康福祉部長 飯田浩子

目 次

1	健康ちば21（第2次）の概要	
（1）	計画の位置づけ	1
（2）	計画の期間	2
（3）	計画の概念	2
2	中間評価の目的と方法	
（1）	目的	3
（2）	方法	3
3	千葉県の健康状態の特徴	
（1）	平均寿命と健康寿命	4
（2）	生活習慣の状況	6
（3）	死亡の状況	7
4	中間評価の結果	
（1）	総合目標の状況	11
	健康寿命の延伸	11
	健康格差の縮小	12
（2）	施策別の達成状況	13
（3）	今後推進すべき施策の方向性について【概要】	15
（4）	4つの柱（施策の方向性）と具体的施策・取組【各論】	19
	I 個人の生活習慣の改善とそれを支える環境の整備	
	栄養・食生活	19
	身体活動・運動	22
	休養	24
	飲酒	26
	喫煙	28
	歯・口腔の健康	31
	II ライフステージに応じた心身機能の維持・向上	
	こころの健康づくり	34
	次世代の健康づくり	36
	高齢者の健康づくり	39
	III 生活習慣病の発症予防と重症化防止	
	がん	42
	循環器疾患	44

糖尿病	47
COPD（慢性閉塞性肺疾患）	49
IV つながりを生かし、健康を守り支える環境づくり	
地域社会のつながりの醸成	51
健康支援のための社会参加・社会貢献	52
健康格差の実態と要因分析	54

資料

千葉県の現状の	56
市町村別の健康寿命（65歳平均自立期間）一覧	59
評価指標の変更等一覧	60
評価指標施策分野別達成度一覧	64
目標及びデータソース一覧	65

参考

委員名簿	71
協議会開催状況	72